

## 整備局における海外派遣講習会の取り組み

企画部 企画課 小林 捺穂

### 1. はじめに

関東地方整備局では毎年、事務系・技術系を合わせ約 90 もの研修が行われている。しかしながら、これまで実施されてきた研修は、日常の行政事務にあたる上で必要な職員の技術力向上や知識習得に資するものが大半であり、習得した知識や技術力を海外で活かす場が存在することや、その具体の業務内容等を修習するものは無かった。

そこで今回、国土交通技官の海外派遣に関する諸制度や実際の活動実績等の理解促進を図るため、海外派遣経験者の経験談を中心にした講習会を全地方整備局で初めて開催した。本論文では、この取組について紹介する。

### 2. 開催の背景と目的

近年、諸外国から JICA への技術者派遣要請が増加傾向にあり、整備局技術系職員の海外派遣のニーズも高まってきている。しかし、現状としてはその要望に十分に答え切れてはいない。その一方で海外派遣経験のある職員はいるものの少数であり直接経験談を聞く機会もないため、海外派遣に関するいかなる制度が存在するのか、という点だけではなく、実際に海外に派遣された場合にどのような業務を行い、どのような状況で生活するのかという具体的なイメージも持ちにくい状況にある。

そこで今回本講習会を開催するにあたり、以下の 2 点を目的とした。

- ① 海外派遣の諸制度について知ってもらうこと（海外派遣制度の周知による潜在的希望者の顕在化、掘り起し）。
- ② 海外派遣に一定の関心がある職員に対し、業務実態や海外での生活実態をより具体的に理解してもらうこと（関心のある職員に対する更なる情報付与）

### 3. 講習会の実施内容とその成果

#### 3. 1 実施内容

①については、諸制度を正確に伝える必要があるため、本省総合政策局海外プロジェクト推進課から講師を招いた。整備局職員に海外派遣に関する諸制度がほとんど理解されていない点などを踏まえ、基礎的な点からの内容とするよう、事前調整を行った。②については、具体的かつ実践的な内容としたいため、経験談に重点を置いた構成とした。

経験談に関しては 3 人の関東地方整備局職員に講義をお願いした。説明者の派遣時期、派遣国、派遣時の役割はそれぞれ以下のとおりであり、ある程度講義内容が異なるような職員を選んだ。

- ・ 2002 年から 2004 年までエチオピアで JICA 専門家<機械職>
- ・ 2013 年から 2016 年までエチオピア大使館の二等書記官<土木職>
- ・ 2014 年から 2016 年までバングラデシュで JICA 専門家<土木職>

講義内容としては、具体的な業務内容、求められる知見などのほか、海外における生活での留意点や私生活も含めた詳細な内容をご講義いただき、受講者に海外派遣の際の具体的な業務や生活のイメージを喚起できるように工夫した。

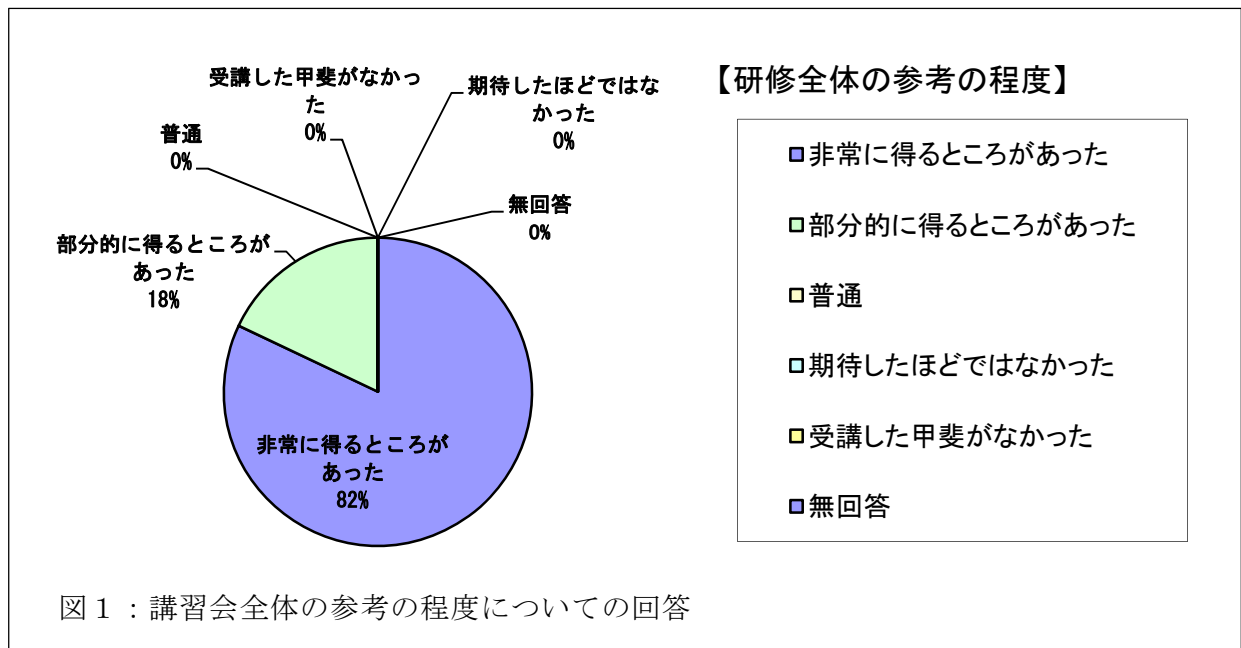
### 3. 2 成果

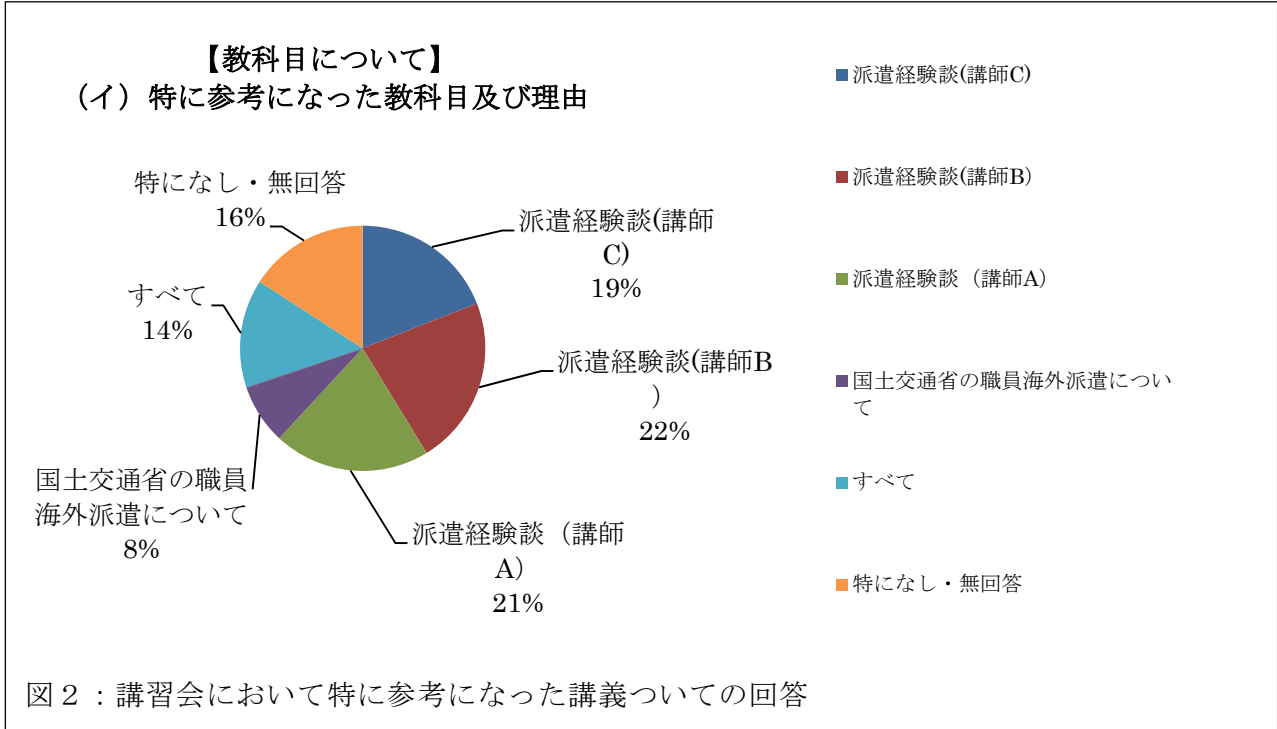
当初の想定を大幅に上回る 38 名の受講者が参加した。このことから、海外派遣に興味や関心があり、将来のキャリア形成の一環として、海外派遣を希望する可能性のある技術系職員が一定数いることが分かった。さらに、本講習会参加した職員 1 人が、平成 30 年 4 月に JICA 短期専門家としてインドネシアに派遣されており、本講習会をとおして潜在的希望者を海外派遣につなげることができた。

#### 3. 2. 1 アンケート結果について

講習会全体について、8 割を超える方が「非常に得るところがあった」と回答した。

また、従事した業務内容、日常生活、派遣初期にかかるお金の話など本音部分の話もあり、実情が具体的に分かる話だったため、アンケートでは具体的なことが分かったという意見が多数見られた。





講義別としては、やはり受講者が知りたがっていることに応えられた経験談の評価がよく、6割を占めた。次年度以降の開催を望む意見も寄せられた。

#### 4. 今後の課題とまとめ

アンケート結果から、派遣先での業務内容の掘り下げ、派遣までの詳しい手続き、現地で罹患したときの具体的な解決法など、やはり人によりさらに知りたいことが異なることが分かった。そのため、多様なニーズに応えるために、詳細な講義項目更なる検討が必要であると思われる。

また、今回の取組は、海外に長期派遣された場合を想定し、JICA長期専門家などとして派遣された方々を講師として招き、講義内容もそれに合わせ現地での業務や生活に比重をおいたものであった。一方で、JICA専門家としてのニーズは長期間の派遣だけではなく、短期間の派遣もあるため、今年度以降の開催については短期派遣も含めた講義、経験談の報告も含めて実施していきたい。

加えて、これからの技術系職員のキャリア形成の一環として、海外派遣をどのように効果的に展開していくか、モデルケース等の構築等も必要と考える。

上記のような課題は残るものの、アンケート結果から好意的な意見が多数見られ、また、JICA短期専門家の派遣にもつながったことから。今回海外派遣経験者の経験談を主軸とした講習会の実施により、海外派遣の実態への理解に関して、一定以上の成果があったと考

えられる。

今後はアンケートの意見を踏まえつつ、技術系職員のキャリア形成における選択肢として、講習内容を充実させつつ、講習会の継続的な開催や研修等への発展を図っていきたい。